実績値を踏まえた事業の今後について

今後の方針の理由

「浅川の花火」の来場者数は微増であるが増加傾向にある。魅力発見体験ツ

う「浅川の花火」とあわせた様々な事業実施による相乗効果を必要とするため、今

「浅川の花火」の栗場着数は微唱であるが増加傾向にある。魅力発見床候ソ ア一では城山公園・植著整備体験や特産品のあさまるバーブーの試食。花火教 室を開催し、参加者による満足度は非常に高かった。特産品の恒常販売開発・販 様式大事業にあたっては、商工会への移動販売車(キルデンル・関発・補助により、 事業の継続特産品のPP活動も積極的も行うことができ、特産品の販売・販路拡大に繋がっ た。また、八紘園内の橋の整備も実施し、景観に配慮する取り組みができた。これ らのことから、平成29年度以降も「浅川の花火」がブランド化として加速化できるよ

後も可能な事業の継続実施が必要である。

## 平成28年度 地方創生加速化交付金に係る事業実施結果報告 (各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

都道府県名	福島県	担当部局課名	総務課					
市町村名	浅川町	担当者氏名	高野喜寛					
都道府県・市町村コード(5桁)	07504	連絡先	電話	0247-36-4121	メールアドレス	soumu@town.asakawa.fukushima.jp		

本事業終了後における実績値

事業効果 事業の評価

あった

実績値

33,000

44

があった

外部有識者からの評価

・花火の里あさかわブランド化については、随分と浸透

・花火の里にちなんだ特産品の早急な商品開発を切に 望んでおります。 ・花火の観光化と地元の経済効果が活性化されること を望みます。 ・花火観賞の有料化、目玉商品の開発、宿泊施設の検 計も視野に、各種団体の協力のもと一歩前に進んでも

いたス のタのグランドハベラ。 ・指標(多を除き実績値が指標値を上回っていることは 評価できると思います。今後も「浅川の花火」がブラン ド化されるよう創意工夫し継続実施されることを願いま

・今後も関係者の更なる努力で目標に近づけてくださ ・供養花火、数多く打ち上げられ関係者の努力が実り ・伝統の花火であるし一大イベントのため事業継続す べきである。

外部有識者からの意見

②地方創生に 総合戦略のKPI 活用の花火は規模より歴史で勝負。地方では有名であるけれど今後はさらに定着上た法川の花火に 慰霊 あるけれど今後はさらに定着上た法川の花火に 慰霊 かんかん

しつつあり嬉しく思っています。

今後の方

本事業における重要業績評価指標(KPI)

指標値

32,600

20

75

単位

目標年月

平成29年3月

平成29年3月

平成29年3月

平成29年3月

指標

「浅川の花火」来場者数

観光・レクリエーションの状 況に関する町民の満足度

今後も本町に"住み続けた い"と思っている町民の割

「浅川の花火」開催による

地元特産品の出展

	(1)	2	(3)	
No	V		実績額	
	交付対象事業の名称	交付金の種 類	単位:円	
1	慰霊の花火ブランド加速化事業 「事業概要」 浅川の花火は「財霊の花火」であり、長い歴史があ る、慰霊花火を通い町を知ってもらう機会を創出して いくと同時に、全国に向けて「花火の里あさかわ」を 発信し、町長を加による慰霊花火実施への活動と り町長の誇りを洒養し、「花火の里あさかわ」の気。夏来 一体となって確成し、町の販力しを創出する。 の一定の金質で随気し、町の販力しを創出する。 取りたいないでは、一般に対していた。 国から必要とされ慰霊なんブランドが定着し、新た でじてど、の割かし、そつない。 「推進団体の設策により、在これでは、でしている。」 おい世代の流出や花火に関する担い手不足の 解消、人口減少への対策に繋げていく。	加速化交付金2次	20,171,624	指標(指標)指標(指標)
1-1	事業内訳 「慰霊花火の実施に向けた調査事業」 慰霊の花火の需要調査及びその場合の費用負担の程度や全国的波及可能性などの一連の調査を行う。また、「花火の里あさかわ」の魅力発見観光・体験ソアーを実施し、事業の実施に向けた実証を行う。		10,746,000	
1-2	「「花火の里あさかわ」PR事業」 慰霊花火の実施、参加団体等の獲得に向け、 観光のぼり・パンフレット・ポスター等の印刷、PR 用広告の掲載により、県内のみならず在京湊川 会と協力し全国へ広くPRする。		2,913,624	
1-3	「特産品の恒常販売開発・販路拡大事業」 四季の花火打ち上げにあわせ地元商店による 出店を推進するため、地元の特産品として通年で 販売できる商品開発を行い、地元商店の活性化 を図る。あわせて移動販売事業人に対する補助 をし、自らが積極的に動き特産品の販売促進・販 路拡大を図る。		5,000,000	
1-4	「受入場所の整備事業」 住民が集え即中心部唯一の八紘園内の橋を整 使し、夜室に打ち上がる花火が公園内の池水面 下に彩る景色を堪能する懸け橋として橋を整備 する。		1,512,000	